

# 選挙の概況

## 1 まえがき

第49回衆議院議員総選挙は、令和3年10月14日岸田内閣のもとでの衆議院の解散により、10月19日に公示され、10月31日に投票が行われた。衆議院解散から総選挙までの期間は戦後最短の17日間であった。

今回の選挙は、初めて任期満了日以降に行われた総選挙となり、選挙の結果、自由民主党、公明党は合わせて293議席を獲得し、引き続き政権を担うこととなった。

また、特例法の成立により、新型コロナウイルス感染症で宿泊・自宅療養等をしている方の「特例郵便等投票」が可能となって初めて実施された国政選挙（補欠選挙を除く）であった。

投票率（小選挙区選挙）の全国平均は55.93%、本県では57.26%であり、衆議院議員総選挙としては、ともに戦後3番目に低い投票率となった。

## 2 管理執行

### (1) 候補者及び当選人について

大分県の小選挙区では、第1区は、NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で、日本共産党、自由民主党から各1人、本人届出2人の計5人の届出があり、本人届出の前職の候補者が当選した。第2区は、自由民主党、立憲民主党から各1人の計2人の届出があり、自由民主党前職の候補者が当選した。第3区は、立憲民主党、自由民主党から各1人の計2人の届出があり、自由民主党前職の候補者が当選した。

比例代表の九州選挙区では9政党が届出をした。当選人の決定は、各名簿届出政党等の得票数に応じて当選人の数を配分するドント式で行われ、公明党4人、立憲民主党4人、日本維新の会2人、日本共産党1人、自由民主党8人、国民民主党1人の計20人が当選人と決定された。

### (2) 投票状況について

#### 投票用紙

小選挙区、比例代表それぞれ、1,033,000枚を印刷し、小選挙区があさぎ色の用紙に、比例代表がピンク色の用紙に、ともに黒刷りとし、規格は縦13cm、横9cmの縦長とした。最高裁判所裁判官国民審査の投票用紙は、1,033,000枚を印刷し、縦9.1cm、横15.2cmの横長で、うぐいす色の用紙に黒刷りとした。

また、点字器使用者の便宜を図るため、紙質を厚くした点字投票用紙も小選挙区、比例代表、国民審査それぞれ3,750枚印刷した。

なお、総務省が作成した在外投票用紙を在外選挙人名簿登録者数に応じて各市町村へ配布した。

#### 投票所数

投票所は、県内で594箇所あり、そのうち投票所の閉鎖時刻を繰り上げたのは440箇所、その内訳は、1時間の繰り上げが201箇所、2時間の繰り上げが187箇所、3時間の繰り上げが43箇所、4時間の繰り上げが9箇所であった。

#### 投票率

全国の投票率は小選挙区で男性56.06%、女性55.80%の平均55.93%、比例代表では男性56.06%、女性55.79%の平均55.92%であった。大分県の投票率は、小選挙区で男性57.38%、女性57.16%の平均57.26%、比例代表では男性57.37%、女性57.15%の平均57.25%であり、小選挙区、比例代表ともに九州では3番目、全国では19番目に高かった。

在外の全国の投票率は、小選挙区20.09%、比例代表では20.25%で、大分県は小選挙区、比例代表

ともに15.57%であった。

#### 無効投票

無効投票は、小選挙区については投票総数546,818票のうち13,485票で無効投票率2.47%、比例代表については投票総数546,707票のうち19,403票で無効投票率3.55%となり、全国平均の2.45%、2.42%をそれぞれ上回った。

### (3) 開票状況について

#### 開票状況

選挙期日当日、各市町村の開票区ごとに即日開票され、ほとんどの市町村で予定どおりに開票作業が終了した。

#### 開票速報

投開票の速報の受理、集計及び記録を行うため、県庁舎本館2階正庁ホールに速報本部を設置した。今回、報道機関向けの発表は全てEメールにより行ったため、発表会場は設けなかった。速報に携わった要員は、36人であった。

### (4) 選挙会及び当選証書付与について

衆議院小選挙区選出議員選挙選挙会は11月3日(水)に、第1区が午前9時30分から、第2区が午前10時から、第3区が午前10時30分から、衆議院比例代表選出議員大分県選挙分会は同日午前11時から、最高裁判所裁判官国民審査大分県審査分会は同日午後2時から県選挙管理委員会室においてそれぞれ開催された。

当選証書の付与は、同日午後1時から県庁舎本館議会棟第6委員会室で行った。

### (5) 選挙公営について

#### 政見放送

政見放送は候補者届出政党が行い、小選挙区選出議員選挙の政見放送は、テレビでは10月24日、26日、27日、28日にNHK2回、OAB、OBS、TOSとも各1回の計5回、ラジオでは10月27日、28日にNHKにおいて計2回が放送された、政見放送の申込政党は4政党であった。

#### 選挙公報

小選挙区、比例代表ともに新聞紙大(ブランク版)の用紙に印刷し、10月21日と22日に各市町村に発送した。小選挙区は全候補者の9人(第1区5人、第2区2人、第3区2人)について選挙区ごとに、比例代表は9政党分を4ページにわたって掲載した。

#### ポスター掲示場

ポスター掲示場の設置数は3,746箇所、ポスター掲示面の区画数は、第1区、第2区、及び第3区ともに8区画であった。

## 3 明るい選挙推進運動について

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで振興局単位で実施していた「新有権者」等による街頭啓発は規模を縮小し、JR大分駅前高校生による街頭啓発を1回行った。

また、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット、広告塔、横断幕、広報車等を通じて、投票方法の周知や投票参加の呼びかけを行った。特に若年層に対する啓発に重点を置き、インターネットを利用した啓発を拡充した。